

平成20年 3月 3日  
午 時 分 受領

平成20年 3月 3日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 1番 佐藤 卓也 ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

第1回定例会において、次の件について質問したいので、会議規則第60条第2項の規定により通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
商工観光振興策・産業活性化について	<p>福島町内の景気が低迷している中、町としてどのような対策をして景気を良くしようとしているのかお尋ねします。</p> <p>第1点目として、町政施行方針の中で、地域食材の提供による他地域との差別化に取り組むとありますが、これまで提供してきたメニューとどのような違いがあるのでしょうか。</p> <p>また、目標数値があれば聞かせて下さい。</p> <p>第2点目は、体験観光型事業の推進とありますが、これは『殿様街道』のことを指しているのでしょうか？それとも別の事業を考えているのでしょうか。</p> <p>海を利用した案などはないのでしょうか。</p> <p>第3点目は、「青函トンネル開業20周年」とありますが、工事に携わってきた関係機関等と連携した事業とはどういったものでしょうか。新聞には、函館駅2F『イルカ文庫』が船や鉄道の書籍、チョコQ、ポストカードを展示していてクローズアップされていますが、当町のトンネル記念館にはその動きが見えません。1年の3分の1、冬季間は休館している状態です。休館中でも、HPにてシアター室の動画が見られるようにするとか、ドラえもん海底ワールドがあったという痕跡を残すとか何か対策はないのでしょうか。</p>	町 長

- 注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。  
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>第4点目は、産業活性化への支援についてです。先日イージー・オーダー説明会が開かれましたが、聞いてみますと、電源三法関連補助事業はじめ地域活性化のプロジェクト、プログラム、各種支援制度が数多くあります。しかし、すでに締め切りが過ぎていたり、商工業者でさえ知らない補助事業があったりします。その辺を整理して起業家育成支援策、企業誘致条例の見直しを事業者だけではなく一般町民にもわかるようにしてはいかがでしょうか。</p>	
<p>インターネット公売について</p>	<p>2月の週刊ダイヤモンドに、福島町の税の徴収率が全国ワースト159位にランクインされました。税の滞納は自治体の財政難の一因になっています。</p> <p>徴収率をアップさせた成功例を見ますと、税務課長・町長の意気込みが違うということです。</p> <p>私は生活困窮などで払えない人から徴収しろとは言いません。もし、払えない人が本当にいるのなら、町民課と連携して生活保護の申請をしなくてはいけないはずで。滞納者の中には払えるのに払わない人がいるのではないのでしょうか。それを放置しているのはまさに職務怠慢となります。</p> <p>まじめに納税している住民から怒りの声が聞こえてきます。住民からの貴重な税金を徴収する、それは大変な仕事かもしれませんが、だからこそ税金を大切に使わなければいけないのです。</p> <p>執行方針によると、職員一丸となって徴収体制の強化を図るとありますが、昨年度と比較して今年度はどのように徴収率を上げるのか具体策と目標値をお尋ねします。</p> <p>また、対策の1つとして差押をしてインターネット公売をしている町が増えてきています。北海道や渡島・桧山滞納整理機構で取り組んでいるようです。当町での予定はいかがでしょうか。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>がん対策基本法・健康増進法について</p>	<p>平成15年に『健康増進法』が施行され、現在『福島町健康づくり推進計画』が策定されます。また、昨年『がん対策基本法』が施行され、後ほど地方公共団体が『がん対策推進基本計画』を策定することになりました。さて、質問ですが、第1点目は、福島町の死因別死亡率の第1位が『がん』で北海道や全国に比べて2倍になっています。特に、男子では、胃がん・結腸がん、女子では、乳がん・卵巣がんが多いです。その原因をどのようにとらえているのでしょうか。</p> <p>第2点目は、がん対策としては、受診率の向上、禁煙が考えられます。一般町民の喫煙率が27.2%、非喫煙率が69.0%、たばこをやめたいという町民が3割という数字が出ています。特に、『健康増進法』で受動喫煙を防止する必要性が強調されていましたが、その防止策はどのようになっているのでしょうか。学校など公共施設はもとより、飲食店でも受動喫煙させないよう事業主に責任を課しています。そういう点が周知されているのか、また役場としての啓発活動状況を聞かせて下さい。</p> <p>第3点目は、健康診断を受けない理由が、受けるのが面倒(30.1%)、健診を受けても何も変わらない(7.2%)ということですが、これは、健診の効果が町民に知られていない結果だと思えます。健診を受けたらがんが見つかる、直るという情報を周知する必要があると思えます。あわせてがんの早期治療による経済効果は大きいと思えますが、具体的な効果を検討したことがありますか。</p> <p>第4点目は、病気についての情報が極端に不足していると思えます。国立がんセンターに設置されているがん対策情報センターのように、がんを含めた全国の病気関連患者団体と町民が双方向で情報交換できるコーナーを図書室あるいはHP上に設置した方がいいのではないのでしょうか。最終的に町民の健康につながりますし、医療費の抑制にもつながります。福島町は空気がきれいで病気の少ない長寿のまちで都会の人が住みたくなるようなまちであって欲しいと思っておりますが、町長の見解をお伺いいたします。</p>	<p>町長</p>